

脈々 <sup>スピリッツ</sup> 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「<sup>ふぎよう</sup>俯仰<sup>は</sup>天地に耻<sup>は</sup>じず」

知っているのに白<sup>しら</sup>を切り、自分がしたことを他人の所為にして責任を取らない、「免れて羞<sup>ま</sup>じず」の風潮が蔓延<sup>まんえん</sup>している。

他人が見ていても見ていなくても当たり前<sup>あたりまえ</sup>のことを当たり前<sup>あたりまえ</sup>のこととして行い、他人に知られていようといまいと自分の良心に耻<sup>は</sup>じない行動をとる、そんな生き方を貫きたいじゃないか。

「背に腹は換へられぬ」と思ふ時は、既に良心の麻痺したる時なり。「此の位の事は」と思ふ時は良心の腐敗せしときなり。

(「藪椿」12-22)